

福島第一原子力発電所

3/4号機排気筒における部材落下リスク低減対策の完了について

< 参考資料 >
2021年11月8日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 福島第一原子力発電所構内においては、排気筒からの部材落下リスクを踏まえ、排気筒周辺について、区画や立ち入り規制、安全通路の設置等により、作業員の安全確保に努めています。
- 3/4号機排気筒においては、2019年に実施した調査等により、高さ約76mにある部材（点検用足場1枚）の設置状態がやや不安定であることを確認しており、11月6日に当該の点検用足場について、落下リスク低減対策として、固縛治具による固縛作業を、遠隔操作ロボットを用い実施しました。
- 排気筒の定期点検において、当該の点検用足場の他に、落下リスク低減対策が必要となる部材等は現時点で確認されていませんが、引き続き、定期点検等により部材等の状態確認を行うとともに、状態に変化が確認された場合は、適切に落下リスク低減対策を講じてまいります。

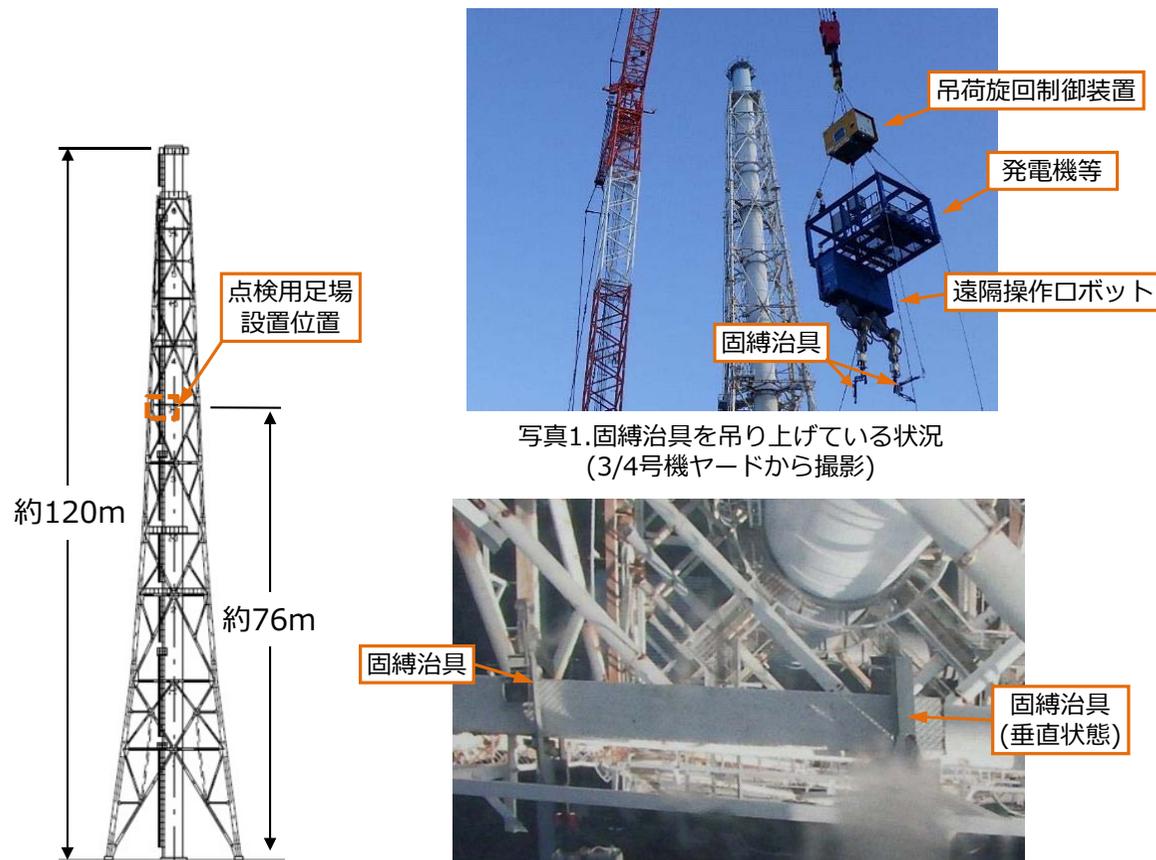


写真1.固縛治具を吊り上げている状況
(3/4号機ヤードから撮影)

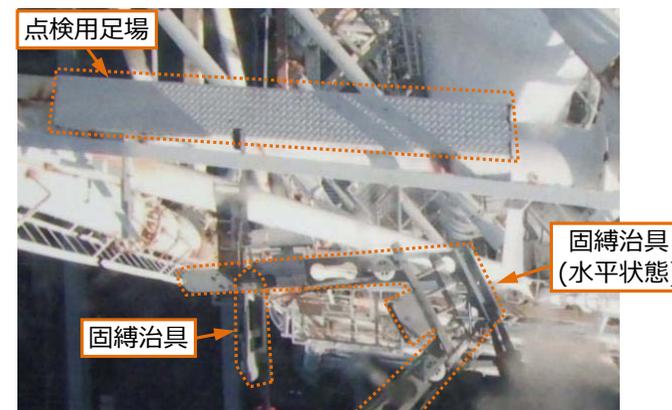


写真2.点検用足場を上から見た状況(固縛前)
(遠隔操作ロボットに設置したカメラ映像を撮影)



写真3.点検用足場に固縛治具を設置している状況
(遠隔操作ロボットに設置したカメラ映像を撮影)

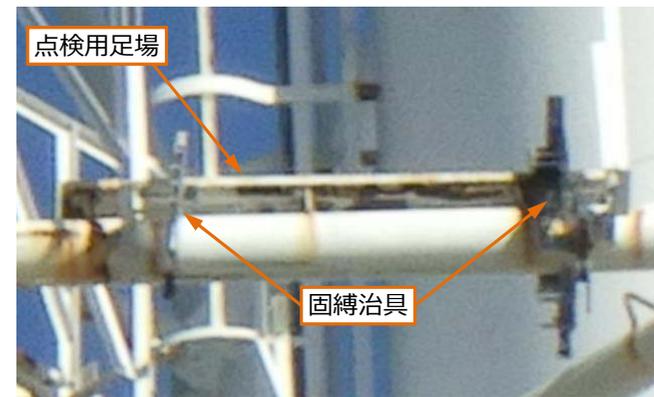


写真4.固縛治具を設置後の状況
(3/4号機ヤードから撮影)

図1.3/4号機排気筒
(南側)